

2022 LEC税理士講座
受講生の皆様へ

＜ 訂正のお詫び ＞

2022 簿記論 上級答練 第2回 解答解説

受講生の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、教材について下記の通り誤りがございます。誠に申し訳ございませんが、各自訂正をお願い致します。

【該当箇所】 解答・解説（HU22132） P10、P11、P12、P16、P17

第三問の解説 銀行勘定調整表について数値に誤りがあったため、該当ページを全て差し替えます。修正箇所は赤字となっておりますので、以降のページにてご確認をお願いいたします。

受講生の皆様にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

東京リーガルマインド 税理士事業本部

お問合せ：LECコールセンター ナビダイヤル 0570 - 064 - 464

(月～金9:30～20:00 / 土・祝10:00～19:00 / 日10:00～18:00)

※ナビダイヤルは、通話料はお客様のご負担となります。 ※PHS・IP電話からはご利用できません。

解答 (●数字は配点を示す。)

〔第一問〕 -25点-

問1

- | | | |
|---|--------|---|
| ① | 57,315 | ② |
| ② | 0 | ② |
| ③ | 610 | ② |
| ④ | 56,461 | ② |
| ⑤ | 5,625 | ② |
| ⑥ | 14,730 | ② |
| ⑦ | 3,502 | ② |

問2

1,850

 円 ⑥

問3

1

 千円 ⑤

解説

〔第一問〕

問1 (単位: 千円)

I 備品 (所有権移転外ファイナンス・リース取引)

1. 返済スケジュール

返済日	a	b	c	d	e
	期首元本	リース料	利息	元本返済	期末元本
返 済 日	—	—	$a \times 5.85\%$	$b - c$	$a - d$
X8. 4. 1.	17,400	3,886	0	3,886	13,514
X9. 4. 1.	13,514	3,886	791	3,095	10,419
X10. 4. 1.	10,419	3,886	610	3,276	7,143
X11. 4. 1.	7,143	3,886	418	3,468	3,675
X12. 4. 1.	3,675	3,886	※ 211	3,675	0
合 計	—	19,430	2,030	17,400	—

※ 差額で算定

2. 会計処理

(1) X8. 4. 1.

(借) リース資産	17,400	※	(貸) リース債務	17,400
(借) リース債務	3,886		(貸) 現金預金	3,886

※ 利息計算上の利率のみが与えられている場合は、通常、リース料総額の割引現在価値を算定する必要はない⇒見積現金購入額を、リース資産・債務の計上額とする。

(2) X9. 3. 31.

(借) 支払利息	791		(貸) 未払利息	791
(借) 減価償却費	3,480	※	(貸) リース資産	3,480

※ $17,400 \div 5 \text{年} = 3,480$ (所有権移転外⇒残存価額ゼロ) なお、減価償却の記帳方法については、直接法により示している (以下同様)。

(3) X9. 4. 1. (当期首)

(借) 未払利息	791		(貸) 支払利息	791
(借) 支払利息	791		(貸) 現金預金	3,886
リース債務	3,095			

(4) X10. 3. 31. (当期末)

(借) 支払利息	610		(貸) 未払利息	610
(借) 減価償却費	3,480		(貸) リース資産	3,480

II 機械装置 (所有権移転ファイナンス・リース取引)

1. 返済スケジュール

返済日	a	b	c	d	e
	期首元本	リース料	利息	元本返済	期末元本
返 済 日	—	—	$a \times 4.82\%$	$b - c$	$a - d$
X10. 3. 31.	60,000	16,850	2,892	13,958	46,042
X11. 3. 31.	46,042	16,850	2,219	14,631	31,411
X12. 3. 31.	31,411	16,850	1,514	15,336	16,075
X13. 3. 31.	16,075	16,850	※ 775	16,075	0
合 計	—	67,400	7,400	60,000	—

※ 差額で算定

2. 会計処理

(1) X9.4.1. (当期首)

(借) 現金預金	60,000	(貸) 機械装置	52,500 ※1
		長期前受収益	7,500
(借) リース資産	60,000 ※2	(貸) リース債務	60,000

※1 機械装置の簿価：75,000-75,000×0.9÷6年×2年=52,500

※2 売却価額

(2) X10.3.31. (当期末)

(借) 支払利息	2,892	(貸) 現金預金	16,850
リース債務	13,958		
(借) 減価償却費	13,125 ※1	(貸) リース資産	13,125
(借) 長期前受収益	1,875	(貸) 長期前受収益償却	1,875 ※2

※1 $(60,000 - 75,000 \times 0.1^{*1}) \div 4 \text{年}^{*2} = 13,125$

*1 当初の取得原価に対する残存価額とする。

*2 リースバック時以後の耐用年数とする。

※2 $7,500 \div 4 \text{年} = 1,875$

※3 機械装置に係る損益計算書上の減価償却費：13,125-1,875=11,250

問2 (単位：円)

■ 資料整理

(1) 40個 @860	60個 (3)
(2) 80個 @800	50個 (5)
(4) 40個 @840	40個 (7)
(6) 60個 @850	65個 (9)
(8) 30個 @900	35個 期末 {250-(60+50+40+65)=35個}

(計：250個 210,000)

1. 先入先出法

(1) 期末商品棚卸高：@900×30個+@850×5個=31,250

(2) 売上原価：210,000-31,250=178,750

2. 移動平均法

(1) 期首棚卸高 @860 40個

(2) 仕入 @800 80個

⇒ 単価：(860×40個+800×80個)÷(40個+80個)=@820

(3) 売上 60個

(4) 仕入 @840 40個

⇒ 単価：(820×60個+840×40個)÷(60個+40個)=@828

(5) 売上 50個

- (6) 仕入 @850 60個
 ⇒ 単価：($@828 \times 50 \text{個} + @850 \times 60 \text{個}$) \div (50個+60個) = @840
- (7) 売上 40個
- (8) 仕入 @900 30個
 ⇒ 単価：($@840 \times 70 \text{個} + @900 \times 30 \text{個}$) \div (70個+30個) = @858
- (9) 売上 65個
 ・期末商品棚卸高：@858 \times 35個 = 30,030
 ・売上原価：210,000 - 30,030 = 179,970

3. 総平均法

- (1) 平均単価：210,000 \div 250個 = @840
 (2) 期末商品棚卸高：@840 \times 35個 = 29,400
 (3) 売上原価：210,000 - 29,400 = 180,600

4. 売上原価の比較

- (1) 180,600(総平均法) > 179,970(移動平均法) > 178,750(先入先出法)
 (2) 差額(解答)：180,600 - 178,750 = 1,850

※ なお、次のように、期末商品棚卸高の差額で求めてもよい。

$$31,250(\text{先入先出法}) - 29,400(\text{総平均法}) = 1,850$$

問3 (単位：千円)

(借) 旅費交通費	3	(貸) 現金	3
(借) 為替差損損益	10	(貸) 現金	10 ※1
(借) 現金	4	(貸) 受取配当金	4
(借) 現金	1 ※2	(貸) 雑益	1

※1 ($@110 \text{円}[\text{CR}] - @120 \text{円}[\text{HR}]$) \times 1,000ドル = Δ 10千円 (現金の減少=差損)

現金有高の計算においてCR換算されているのは適正である。

※2 412[実際]* - 411[帳簿]* = +1 (雑益)

* 現金有高			* 現金出納帳		
418	③	7	420	①	3
④	4	⑤	④	4	②
		3			10
		412			411

なお、③(収入印紙)及び⑤(自己振出小切手)については、現金有高計算上の誤りであり、帳簿上の処理は適正に行われていると判断すること。

解答 (●数字は配点を示す。)

〔第二問〕 -25点-

問1

A	490	②
---	-----	---

B	500	②
---	-----	---

C	239,500	②
---	---------	---

D	13,400	②
---	--------	---

問2

①	2,425	②
---	-------	---

②	1,050	②
---	-------	---

③	560	②
---	-----	---

④	\triangle 700	②
---	-----------------	---

⑤	8,500	②
---	-------	---

⑥	9,920	②
---	-------	---

⑦	1,650	②
---	-------	---

⑧	1,380	②
---	-------	---

⑨	82,950	①
---	--------	---

解説

〔第二問〕

I 前期末整理後の空欄と前期末の繰越利益剰余金

投資有価証券	28,400	=4,800+14,300+9,300
繰延税金資産	120	= (5,200-4,800) × 30%
繰延税金負債	330	= (14,300-13,700+9,300-8,800) × 30%
その他有価証券評価差額金	490	= (4,800-5,200+14,300-13,700+9,300-8,800) × (100%-30%)・・・空欄A
新株予約権	100	=貸借差額
合計	368,920	

※ 前期の純利益：235,000-230,000-1,500=3,500

当期首の繰越利益剰余金：5,000(後T/B)+3,500(純利益の振替)=8,500

II 当期の期中取引（解答上必要なもののみ示す。）

1. 剰余金の配当等

(借) 別途積立金	1,500	(貸) 繰越利益剰余金	1,500
(借) 繰越利益剰余金	4,400	(貸) 利益準備金	400 ※
		現金預金	4,000

※ ① $4,000 \times \frac{1}{10} = 400$

② $50,000 \times \frac{1}{4} - (8,000 + 4,100) = 400$

③ ①=② よって、400

2. 自己株式の取得・処分等

(1) X9年4月

(借) 自己株式	1,500	(貸) 現金預金	1,500
----------	-------	----------	-------

※ @5 × 300株 = 1,500

前期末保有高：@5.4 × 500株 = 2,700 (前期末T/B) ⇒ 1株あたりの取得価額： $\frac{2,700 + 1,500}{500株 + 300株} = @5.25$

(2) X9年5月

(借) 現金預金	475 ※2	(貸) 自己株式	525 ※1
その他資本剰余金	50 ※3		

※1 @5.25 × 100株 = 525

※2 @4.75 × 100株 = 475

※3 475 - 525 = △50 (自己株式処分差損)

(3) X9年7月

(借) 現金預金	2,500	(貸) 資本金	925 ※4
		自己株式	1,575 ※1

※1 @5.25×300株=1,575

※2 新株交付割合： $\frac{200株}{500株}=0.4$ 自己株式交付割合： $\frac{300株}{500株}=0.6$

※3 自己株式に対する払込金額：2,500×0.6=1,500

自己株式処分差額：1,500-1,575=△75（処分差損）

※4 新株に対する払込金額：2,500×0.4=1,000

資本金計上額：1,000-75=925（特に指示がないので、会社法原則により全額資本金とする。）

3. 新株予約権の発行

(借) 現金預金	1,500	(貸) 新株予約権	1,500
----------	-------	-----------	-------

※ @3×500個=1,500

4. 新株の発行

(借) 現金預金	2,875	(貸) 資本金	2,275 ※1
		資本準備金	600 ※1

※1 【資料IV】当期の株主資本等変動計算書より

※2 発行株式数：(2,275+600)÷@5.75=500株（空欄B）

なお、1株あたりの資本金計上額は、2,275÷500株=4.55

5. 剰余金の配当等

(借) その他資本剰余金	540 ※4	(貸) 現金預金	2,500 ※1
繰越利益剰余金	2,960 ※5	資本準備金	40 ※3
		利益準備金	160 ※3
		別途積立金	800

※1 500+2,000=2,500

※2 準備金積立額

① $2,500 \times \frac{1}{10} = 250$

② $(50,000 + 925 + 2,275) \times \frac{1}{4} - (8,000 + 600 + 4,100 + 400) = 200$

③ ①>② よって、200

※3 資本準備金： $200 \times \frac{500}{500+2,000} = 40$ 、利益準備金： $200 \times \frac{2,000}{500+2,000} = 160$

※4 500+40=540

※5 2,000+160+800=2,960

6. 新株予約権の行使

(借) 現金預金	4,640 ※2	(貸) 資本金	1,785 ※7
新株予約権	120 ※3	資本準備金	1,785
		自己株式	1,050 ※4
		その他資本剰余金	140 ※6

※1 交付株式数：20株×40個=800株

※2 @5.8×800株=4,640

※3 @3×40個=120

※4 @5.25×200株=1,050

※5 新株交付割合： $\frac{800株-200株}{800株}=0.75$ 自己株式交付割合： $\frac{200株}{800株}=0.25$

※6 自己株式に対する払込金額： $(4,640+120) \times 0.25=1,190$

自己株式処分差額： $1,190-1,050=140$ (処分差益)

※7 新株に対する払込金額： $(4,640+120) \times 0.75=3,570$

資本金計上額： $3,570 \times \frac{1}{2}=1,785$

7. 新株予約権の失効

(借) 新株予約権	100	(貸) 新株予約権戻入益	100
-----------	-----	--------------	-----

8. 投資有価証券

(借) 現金預金	5,000	(貸) 投資有価証券	5,200
投資有価証券売却損	200		

III 決算整理等

1. 投資有価証券

(借) 繰延税金資産	90	(貸) 投資有価証券	300 ※4
其他有価証券評価差額金	210 ※3		
(借) 投資有価証券	700 ※1	(貸) 繰延税金負債	210
		其他有価証券評価差額金	490 ※2

※1 丙社株式の時価評価： $9,500-8,800=700$

※2 丙社株式の評価差額： $700 \times (100\%-30\%)=490$

※3 【資料IV】当期の株主資本等変動計算書より

 其他有価証券評価差額金の当期変動額は△210、よって、当期末残高は280 ([当期首]490-210)

 乙社株式の評価差額： $280-490$ [丙社]=△210

※4 乙社株式の時価評価： $\triangle 210 \div (100\%-30\%)=\triangle 300$

 よって、乙社株式の当期末時価： $13,700-300=\underline{13,400}$ (空欄D)

2. 法人税等

(借) 法人税等	3,120 ※1	(貸) 未払法人税等	3,120
----------	----------	------------	-------

※1 【資料IV】当期の株主資本等変動計算書より、当期純利益は7,280

 税引前当期純利益： $7,280 \div (100\%-30\%)=10,400$

 法人税： $10,400 \times 30\%=3,120$

※2 諸費用(空欄C)をXとおく。

$250,000$ [諸収益]+ 100 [戻入益]- $X-200$ [売却損]= $10,400$ [税引前利益]

$X=\underline{239,500}$

IV 当期の株主資本等変動計算書

	株 主 資 本							自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	50,000	8,000	1,500	4,100	2,000	8,500	△2,700	71,400	
当期変動額									
新株の発行	2,275	600						2,875	
剰余金の配当(2回)		40	△540	560		△6,560		△6,500	
別途積立金積立					800	△800		—	
別途積立金取崩					△1,500	1,500		—	
当期純利益						7,280		7,280	
自己株式の取得							△1,500	△1,500	
自己株式の処分			△ 50				525	475	
自己株式の処分 と新株の発行に よる増減(2回)	2,710	1,785	140				2,625	7,260	
当期変動額合計	4,985	2,425	△ 450	560	△ 700	1,420	1,650	9,890	
当期末残高	54,985	10,425	1,050	4,660	1,300	9,920	△1,050	81,290	

	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金		
当期首残高	490	100	71,990
当期変動額			
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△ 210	1,280	—
当期変動額合計	△ 210	1,280	10,960
当期末残高	280	1,380	82,950

解 答

〔第三問〕 -50点-

(各2点)

①	27,393,210
---	------------

②	98,679,000
---	------------

③	2,746,092
---	-----------

④	1,070,000
---	-----------

⑤	13,531,360
---	------------

⑥	2,200,000
---	-----------

⑦	1,692,000
---	-----------

⑧	11,266,965
---	------------

⑨	20,000,000
---	------------

⑩	1,260,690
---	-----------

⑪	90,000,000
---	------------

⑫	2,915,010
---	-----------

⑬	26,600
---	--------

⑭	971,961,000
---	-------------

⑮	225,265,452
---	-------------

⑯	4,588,800
---	-----------

⑰	2,454,908
---	-----------

⑱	13,480,000
---	------------

⑲	339,390
---	---------

⑳	1,264,280,000
---	---------------

㉑	4,000,000
---	-----------

㉒	241,160
---	---------

㉓	100,000
---	---------

㉔	15,000
---	--------

㉕	50,400
---	--------

解説

〔第三問〕(単位：千円)

I 整理前の空欄

投資有価証券	13,500,200	円 (II 5.(3)参照)
繰延税金負債	18,900	円 (II 5.(1)参照)
資本金	90,000,000	円 (差額)
その他有価証券評価差額金	44,100	円 (II 5.(1)参照)
合計	1,845,948,350	円

II 決算整理等

※ 以下、消費税額に関しては必要に応じて、(税込金額) $\times \frac{0.1}{1.1}$ として計算している。

1. 現金について

(借) 当座預金	297,000	*1	(貸) 未払金	297,000
(借) 当座預金	130,400	*1	(貸) 現金	130,400
(借) 現金	169,370		(貸) 受取利息及び受取配当金	200,000
仮払法人税等	30,630			*2
(借) 仮払金	80,000		(貸) 現金	80,000
(借) 販売費管理費	100,000		(貸) 仮払金	80,000
仮払消費税等	10,000		未払金	30,000
(借) 現金	50,400	*4	(貸) 雑収入	50,400

* 1 下記「2. 当座預金について」参照

* 2 169,370+30,630=200,000

* 3 精算したのは2022年4月1日(=翌期)であるので、当期の処理としては「未払金」とする。

* 4 実際有高： 857,578[通貨]+1,223,200[小切手]+169,370[配当金領収書]=2,250,148

帳簿残高： 2,240,778[前T/B]-130,400+169,370-80,000=2,199,748

よって、2,250,148-2,199,748=+50,400 (雑収入)

2. 当座預金について (銀行勘定調整表)

(1) 桁違いと貸借反対の修正

(借) 当座預金	2,035,000	(貸) 売掛金	2,035,000
----------	-----------	---------	-----------

* 正しい金額=X → X-0.1X=1,665,000 → X=1,850,000

正 (当座預金) 1,850,000 (売掛金) 1,850,000

誤 (売掛金) 185,000 (当座預金) 185,000

よって、修正額： 1,850,000+185,000=2,035,000

(2) 締め後入金 仕訳不要

(3) 未渡小切手 (上記1. *1「受取りにこなかった小切手」と同内容)

(借) 当座預金	297,000	(貸) 未払金	297,000
----------	---------	---------	---------

(4) 未取付小切手 仕訳不要

(5) 未記帳

(借) 不渡手形	1,000,000	*1	(貸) 当座預金	1,000,000
(借) 保証債務	100,000	*2	(貸) 保証債務取崩益	100,000

*1 ただし、決算整理事項4.(4)において、不渡手形を破産更生債権等へ振り替える。

*2 $1,000,000 \times 10\% = 100,000$

(6) 自己振出小切手（上記1. *1「当社がかつて振出した小切手」と同内容）

(借) 当座預金	130,400	(貸) 現金	130,400
----------	---------	--------	---------

* 銀行勘定調整表の作成により、上記(6)の金額を算定する。

銀行勘定調整表				(単位：円)
残高証明書	8,381,500	帳簿残高	6,721,100	
加算 (2)	330,000	加算 (1)	2,035,000	
減算 (4)	-528,000	(3)	297,000	
		(6)	130,400	
		減算 (5)	-1,000,000	
	<u>8,183,500</u>		<u>8,183,500</u>	

3. 期末商品棚卸高について

(借) 売上	980,000	(貸) 売掛金	1,078,000
仮受消費税等	98,000		
(借) 仕入	87,000,000	(貸) 繰越商品	87,000,000
(借) 繰越商品	99,600,000	*1 (貸) 仕入	99,600,000
(借) 棚卸減耗費	60,000	*2 (貸) 繰越商品	921,000
商品評価損	861,000	*3	
(借) 仕入	861,000	商品評価損	861,000

*1 期末商品帳簿棚卸高：74,700,000 + @30,000 × 830個 = 74,700,000 + 24,900,000 = 99,600,000

*2 棚卸減耗費：@30,000 × (830個 - 828個) = 60,000

*3 ① 欠陥品の評価損：(@30,000 - @18,000) × 3個 = 36,000

② 正常品の評価損：(@30,000 - @29,000) × (828個 - 3個) = 825,000

③ 評価損合計：36,000 + 825,000 = 861,000

*4 繰越商品（整理後）：74,700,000 + @29,000 × 825個 + @18,000 × 3個
= 74,700,000 + 23,925,000 + 54,000 = 98,679,000
または、99,600,000 - 921,000 = 98,679,000

4. 貸倒引当金について

(借) 破産更生債権等	2,200,000	(貸) 受取手形	800,000
		売掛金	400,000
		不渡手形	1,000,000
		*1	
(借) 貸倒引当金繰入	4,588,800	*5 (貸) 貸倒引当金	4,588,800
(借) 法人税等調整額	66,000	(貸) 繰延税金資産	66,000
(借) 繰延税金資産	416,400	*7 (貸) 法人税等調整額	416,400

* 1 得意先T社（決算整理事項2.(5)参照）に対する債権は破産更生債権等に振り替える。

* 2 売上債権の貸倒引当金設定額

	P 社	T 社	一般債権	
受取手形 64,000,000	1,400,000	800,000	61,800,000	売掛金
売掛金 49,400,000 ※	800,000	400,000	48,200,000	52,513,000 (前T/B)
不渡手形 1,000,000	0	1,000,000	0	-2,035,000 上記2.(1)
	2,200,000	2,200,000	110,000,000	-1,078,000 上記3.
担保	-700,000	-600,000	0	49,400,000 ※
	1,500,000	1,600,000	110,000,000	
	×40%	×100%	×0.8%	
設定額	600,000	1,600,000	880,000	

* 3 長期貸付金の貸倒引当金設定額

割引現在価値：400,000×1.8334+20,400,000×0.8396=17,861,200

貸倒引当金設定額：20,000,000-17,861,200=2,138,800

* 4 貸倒引当金設定額合計：600,000+1,600,000+880,000+2,138,800=5,218,800

* 5 繰入額：5,218,800(*4)-630,000(前T/B)=4,588,800

* 6 220,000[超過額]×30%=66,000

* 7 (5,218,800[設定額]-3,830,800[限度額])×30%=1,388,000×30%=416,400

5. 投資有価証券について

(1) 期首洗替処理（未処理）

L社株式

(借) 繰延税金負債	18,900 *2	(貸) 投資有価証券	63,000 *1
その他有価証券評価差額金	44,100		

* 1 2,939,000-2,876,000=+63,000

* 2 63,000×30%=18,900

M社株式

(借) 投資有価証券	33,000	(貸) 投資有価証券評価損益	33,000
------------	--------	----------------	--------

* 5,738,000-5,771,000=△33,000

(2) 期末評価替

L社株式

(借) 投資有価証券	38,000 *1	(貸) 繰延税金負債	11,400 *2
		その他有価証券評価差額金	26,600

* 1 2,914,000-2,876,000=38,000

* 2 38,000×30%=11,400

M社株式

(借) 投資有価証券評価損益	18,000	(貸) 投資有価証券	18,000 *1
(借) 法人税等調整額	9,900	(貸) 繰延税金資産	9,900 *2
(借) 繰延税金資産	5,400 *3	(貸) 法人税等調整額	5,400

* 1 $5,753,000 - 5,771,000 = \Delta 18,000$

* 2 $33,000[\text{前期末評価損}] \times 30\% = 9,900$

* 3 $18,000[\text{当期末評価損}] \times 30\% = 5,400$

N社社債

(借) 投資有価証券	41,160	(貸) 有価証券利息	41,160 ⑥
------------	--------	------------	----------

* 償却原価法の計算

	期首簿価	期首簿価×5%	額面×4%	償却	期末簿価
前期	4,784,000	239,200 ②	200,000 ①	39,200 ③	4,823,200 ④
当期	4,823,200 ④	241,160 ⑤	200,000 ①	41,160 ⑥	4,864,360 ⑦

① $5,000,000 \times 4\% = 200,000$

② $4,784,000 \times 5\% = 239,200$

③ $239,200 - 200,000 = 39,200$

④ $4,784,000 + 39,200 = 4,823,200$

⑤ $4,823,200 \times 5\% = 241,160$

⑥ $241,160 - 200,000 = 41,160$

⑦ $4,823,200 + 41,160 = 4,864,360$

(3) 前T/Bの投資有価証券 (洗替処理が未処理)

$2,939,000(L) + 5,738,000(M) + 4,823,200(N) = 13,500,200$

6. 有形固定資産について

(1) 建物

(借) 減価償却費	340,000 *2	(貸) 建物	43,680,000 *1
仮受金	47,540,000	保険差益	4,200,000 *3
(借) 支払手形	20,000,000	(貸) 営業外支払手形	20,000,000 *4
(借) 減価償却費	663,000 *5	(貸) 建物	663,000
(借) 法人税等調整額	1,260,000	(貸) 繰延税金負債	1,260,000 *6
(借) 繰越利益剰余金	2,940,000	(貸) 建物圧縮積立金	2,940,000 *7
(借) 繰延税金負債	10,710 *8	(貸) 法人税等調整額	10,710
(借) 建物圧縮積立金	24,990 *9	(貸) 繰越利益剰余金	24,990

* 1 旧建物の期首簿価：121,680,000(前T/B) - 78,000,000(新建物) = 43,680,000

【参考】期首減価償却累計額：60,000,000×0.034×8年=16,320,000

よって、旧建物の期首簿価：60,000,000 - 16,320,000 = 43,680,000

* 2 $60,000,000 \times 0.034 \times \frac{2\text{カ月}(4\text{月} \sim 5\text{月})}{12\text{カ月}} = 340,000$

* 3 差額

* 4 $78,000,000 - 58,000,000 = 20,000,000$

* 5 $78,000,000 \times 0.034 \times \frac{3\text{カ月}(1\text{月} \sim 3\text{月})}{12\text{カ月}} = 663,000$

- * 6 $4,200,000 \times 30\% = 1,260,000$
- * 7 $4,200,000 \times (1 - 30\%) = 2,940,000$
- * 8 $1,260,000 \times 0.034 \times \frac{3 \text{カ月}(1 \text{月} \sim 3 \text{月})}{12 \text{カ月}} = 10,710$
- * 9 $2,940,000 \times 0.034 \times \frac{3 \text{カ月}(1 \text{月} \sim 3 \text{月})}{12 \text{カ月}} = 24,990$

(2) 備品

(借) 減価償却費	1,031,908	(貸) 備品	1,031,908
-----------	-----------	--------	-----------

① 備品Aの減価償却

- 前々期の減価償却費： $2,400,000 \times 0.25 = 600,000$
- 前期の減価償却費： $(2,400,000 - 600,000) \times 0.25 = 450,000$
- よって、期首簿価： $2,400,000 - (600,000 + 450,000) = 1,350,000$
- 当期の減価償却費： $1,350,000 \times 0.25 = 337,500$

② 備品Bの減価償却

- 期首簿価： $3,778,000(\text{前T/B}) - 1,350,000(\text{備品Aの期首簿価}) = 2,428,000$
- 【参考】取得価額(X)： $X - X \times 0.286 \times \frac{8 \text{カ月}}{12 \text{カ月}} = 2,428,000$
 $X = 3,000,000$
- 当期の減価償却費： $2,428,000 \times 0.286 = 694,408$

③ 合計： $337,500(\text{A}) + 694,408(\text{B}) = 1,031,908$

(3) 車両

(借) 減価償却費	420,000	(貸) 車両	420,000
-----------	---------	--------	---------

① 車両A

- 期首減価償却累計額： $900,000 \times 0.200 \times \frac{34 \text{カ月}(2018 \text{年} 6 \text{月} \sim 2021 \text{年} 3 \text{月})}{12 \text{カ月}} = 510,000$
- 期首簿価： $900,000 - 510,000 = 390,000$
- 当期の減価償却費： $900,000 \times 0.200 = 180,000$

② 車両B

- 期首簿価： $1,490,000(\text{前T/B}) - 390,000(\text{A}) = 1,100,000$
- 取得価額(X)： $X - X \times 0.200 \times \frac{5 \text{カ月}}{12 \text{カ月}} = 1,100,000 \rightarrow X = 1,200,000$
- 当期の減価償却費： $1,200,000 \times 0.200 = 240,000$

③ 合計： $180,000(\text{A}) + 240,000(\text{B}) = 420,000$

7. 退職給付引当金について

(借) 退職給付引当金	11,600,000	(貸) 仮払金	11,600,000
(借) 退職給付費用	13,480,000 *1	(貸) 退職給付引当金	13,480,000
(借) 繰延税金資産	564,000 *2	(貸) 法人税等調整額	564,000

- * 1 利息費用： $75,000,000 \times 2\% = 1,500,000$
 期首年金資産： $75,000,000[\text{期首退債}] - 47,000,000[\text{前T/B退引}] = 28,000,000$
 期待運用収益： $28,000,000 \times 1.5\% = 420,000$
 当期の退職給付費用： $12,400,000[\text{勤務費用}] + 1,500,000 - 420,000 = 13,480,000$
- * 2 当期末退職給付引当金： $47,000,000 - 11,600,000 + 13,480,000 = 48,880,000$
 よって、 $(48,880,000 - 47,000,000[\text{期首}]) \times 30\% = 564,000$

8. その他

(1) 未払消費税等

(借) 仮受消費税等	126,428,000	*1	(貸) 仮払消費税等	111,186,925	*2
			(貸) 仮払金	3,974,110	
			(貸) 未払消費税等	11,266,965	

* 1 $126,526,000 - 98,000 = 126,428,000$

* 2 $111,176,925 + 10,000 = 111,186,925$

(2) 未払法人税等

(借) 法人税等	14,657,730	*1	(貸) 仮払法人税等	30,630	*2
			(貸) 販売費管理費	694,000	
			(貸) 仮払金	10,354,960	
			(貸) 未払法人税等	3,578,140	

* 1 税引前当期純利益 : 49,990,400 (収益合計－費用合計)

法人税等調整額 : $66,000 - 416,400 + 9,900 - 5,400 + 1,260,000 - 10,710 - 564,000 = 339,390$

法人税等(X) : $X + 339,390 = 49,990,400 \times 30\% \rightarrow X = 14,657,730$

* 2 上記「1. 現金について」参照

◇ 補 足 ～ 税効果会計 ～

税効果会計については、以下のように、まとめて資料整理を行ってもよい。(その他有価証券評価差額金に係る税効果額を除く。)

1. 前期末の繰延税金資産 (=前T/B繰延税金資産)

$(220,000[\text{貸倒引当金}] + 33,000[\text{その他有価証券}] + 47,000,000[\text{退職給付引当期}]) \times 30\% = 14,175,900$

2. 当期末の繰延税金資産・繰延税金負債

(1) 繰延税金資産

$(1,388,000[\text{貸倒引当金}] + 18,000[\text{その他有価証券}] + 48,880,000[\text{退職給付引当期}]) \times 30\%$
 $= 15,085,800$

(2) 繰延税金負債

圧縮記帳に係る当期末一時差異 : $4,200,000[\text{圧縮額}] - 4,200,000 \times 0.034 \times \frac{3\text{カ月}}{12\text{カ月}} = 4,164,300$

期末繰延税金負債 : $4,164,300 \times 30\% = 1,249,290$

(3) 仕訳

(借) 繰延税金資産	909,900	*1	(貸) 繰延税金負債	1,249,290
法人税等調整額	339,390	*2		

* 1 繰延税金資産の増減額 : $15,085,800[\text{当期末}] - 14,175,900[\text{前期末}] = 909,900$ (増加)

* 2 貸借差額

III 貸借対照表及び損益計算書

貸借対照表

2022年3月31日

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	2,250,148	支払手形	51,937,000
当座預金	27,393,210	買掛金	40,527,350
受取手形	63,200,000	未払金	1,692,000
売掛金	49,000,000	預り金	3,000,000
繰越商品	98,679,000	未払消費税等	11,266,965
建物	77,337,000	未払法人税等	3,578,140
備品	2,746,092	営業外支払手形	20,000,000
車両	1,070,000	長期借入金	60,000,000
土地	64,408,000	退職給付引当金	48,880,000
投資有価証券	13,531,360	繰延税金負債	1,260,690
長期貸付金	30,000,000	資本金	90,000,000
長期性預金	13,480,215	資本準備金	12,000,000
破産更生債権等	2,200,000	利益準備金	6,000,000
繰延税金資産	15,085,800	圧縮積立金	2,915,010
貸倒引当金	△ 5,218,800	別途積立金	60,000,000
		繰越利益剰余金	42,078,270
		その他有価証券評価差額金	26,600
合計	455,162,025	合計	455,162,025

損益計算書

自2021年4月1日2022年3月31日

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
売上原価	971,961,000	売上高	1,264,280,000
販売費管理費	225,265,452	受取利息及び受取配当金	4,000,000
棚卸減耗費	60,000	有価証券利息	241,160
貸倒引当金繰入	4,588,800	保証債務取崩益	100,000
減価償却費	2,454,908	投資有価証券評価損益	15,000
退職給付費用	13,480,000	雑収入	50,400
支払利息	3,900,000	保険差益	4,200,000
土地売却損	1,186,000		
法人税等	14,657,730		
法人税等調整額	339,390		
当期純利益	34,993,280		
合計	1,272,886,560	合計	1,272,886,560